

児童のための手当を知っていますか？

申問 子ども育成課医療・手当係(北別館1階) ☎72-2111

1

児童の健やかな成長に役立てることを目的に、手当を支給する制度があります。受取りには手続きが必要です。下記の対象を確認のうえ、まだ手続きをしていない人はお問い合わせください。

児童手当(特例給付)

対象 中学校卒業まで(15歳になってから最初の3月31日まで)の児童を養育している人
※出生や転入から15日以内に手続きをしてください

月額

児童の年齢	手当月額
3歳未満	15,000円
3歳～小学校修了前	10,000円(第3子以降 ^(※) は15,000円)
中学生	10,000円
※所得制限を超える場合	年齢にかかわらず5,000円

(※)「第3子以降」とは、高校卒業まで(18歳になってから最初の3月31日まで)の養育している児童のうち、3番目以降の子をいいます

公務員の場合 児童手当は勤務先から支給されるため、勤務先で手続きしてください。ただし、公務員を退職(民間への転職や出向含む)したときは、退職から15日以内に市で手続きしてください。新たに公務員になった時も、市と勤務先で手続きが必要です。

児童扶養手当

対象 次のいずれかに該当する児童(18歳になってから最初の3月31日まで、一定の障がいがある場合は20歳未満まで)を監護している父母、または父母に代わりその児童を養育している人

- ・父母が離婚(事実婚解消を含む) ・父または母が死亡
- ・父または母が施行令に定める程度の障がいの状態(年金の障がい等級1級程度)
- ・父または母の生死が不明 ・父または母から1年以上遺棄されている
- ・父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた
- ・父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている ・母が未婚で出産

月額(4月分から手当額が変更されます)

	児童1人	第2子加算	第3子以降加算
3月分まで			
全部支給	42,910円	10,140円	6,080円
一部支給	10,120円～42,900円	5,070円～10,130円	3,040円～6,070円
4月分から			
全部支給	43,160円	10,190円	6,110円
一部支給	10,180円～43,150円	5,100円～10,180円	3,060円～6,100円

※手当額は、児童の人数や所得額に応じて決まります。詳しくは、お問い合わせください

特別児童扶養手当

対象 一定程度以上の障がいがある20歳未満の児童を養育している父母など(認定には診断書が必要な場合があります)。※所得制限があります

月額

- 1級(重度障がい児)…52,200円(4月分から52,500円)
- 2級(中度障がい児)…34,770円(4月分から34,970円)

社会教育委員を募集します

申 問 生涯学習課社会教育係 ☎72-2111 ☎838-0142 小郡市大板井1180-1 (生涯学習センター内)

募集人数 4人

応募資格 次の全てに該当する人

- ・学校教育と社会教育の関係者、生涯学習の向上に資する活動を行う人や学識経験のある人
- ・国や地方公共団体の議員または常勤の職員でない人
- ・本市の附属機関などの委員を3機関以上兼ねていない人
- ・市内に居住している満20歳以上の人

任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

活動内容

- ・社会教育と生涯学習に関する諸計画の立案
- ・年に3回程度開催する会議に出席し、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること
- ・職務を行うために必要な研究調査や啓発を行うこと

報酬 会議1回出席につき4,700円

申込方法 市販の履歴書1通を持参または郵送

申込締切 3月16日(月)／午後5時必着

選考方法 書類選考

第7回「小郡ジュニア歴史博士」表彰式を行いました

問 文化財課文化財係 ☎75-7555

小郡に住む子どもたちが、小郡の歴史や文化・民俗について研究することで、ふるさとに愛着と誇りを持ってもらおうと始まった「小郡ジュニア歴史博士」。今回は、過去最多の509点の応募があり、大賞1点、優秀賞4点、佳作12点、奨励賞27点を選出しました。

大賞 ^{なお} 野菜桜さん(立石小6年)

優秀賞 ^{あきこ} 進村亜希子さん(三国小3年)

^{たけひろ} 白木武宏さん(三国小6年)

^{こうたろう} 林洸太郎さん(のぞみが丘小5年)

^{さくら} 林咲良さん(のぞみが丘小3年)

^{はるか} 三木遙さん(三国中2年)



1月18日(土)表彰式

大賞「花立山穴観音古墳について」

^{なお} 野菜桜さんの受賞コメント

「身近な花立山に前方後円墳があることを知り、詳しく調べることができてよかったです。九州歴史資料館には、三沢遺跡のつぼや農機具などが展示されていて、小郡の歴史についてもっと詳しく調べてみたいと思いました。」

【講評】

古墳の内部に入って気付いたことや、九州歴史資料館で調べたことを、写真を使いながら分かりやすくまとめていました。



※全受賞者の氏名・作品名は、埋蔵文化財調査センターホームページ(www.kodaitaiken-ogori.lg.jp)に掲載しています